

第39回 中国・四国地区聾教育研究大会（高知大会）開催要項（第2次案内）

- 1 大会主題 「豊かな心と自ら学ぶ意欲をはぐくみ、主体的に生きる子どもを育てる」
～豊かなコミュニケーション活動を基盤とした学習指導の工夫～

【設定理由】

平成19年度から始まった特別支援教育の理念のもと、聾学校等においてはこれまで培ってきた指導の実績を踏まえ、聴覚に障害のある子どもたちが自らの力や、可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加するための力を身に付けることを目標とした教育実践や、一人ひとりのニーズに合わせた支援の方法の研究が進められている。

新学習指導要領では、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康と体力」などをバランスよく育て、「生きる力」をより一層はぐくむことが明記されている。その中でも、基礎的・基本的な知識・技能の習得をもってする「確かな学力」の育成は、準ずる教育を行う聴覚障害教育においても同様に重視する必要がある。

近年、子どもたちを取り巻く社会は、情報化・国際化・価値観の多様化が進み、産業や生活の場面において大きな変化が見られる。変化の激しいこれからの社会を生き抜くための「生きる力」の育成は、大きな課題となっている。

聴覚に障害のある子どもたちが、自立し社会参加していくために必要な「生きる力」とは何か、また、「生きる力」をはぐくむために私たちは聴覚障害教育の専門性をどのように高め、個々のニーズに応じた支援はどのようにすれば効果的なのか、という課題解決の糸口を見つけるべく、この大会主題を設定した。

- 2 主催 四国地区聾教育研究会・中国地区ろう教育研究会
- 3 日時 平成28年11月10日（木）・11日（金）
- 4 会場 高知県立高知ろう学校
- 5 後援 高知県教育委員会・高知市教育委員会・高知県特別支援学校長会

6 日程

【第1日目 11月10日（木）： 公開授業・開会行事・記念講演・授業研究会】

9:00	9:40	11:30	12:30	13:00	15:00	15:15	16:30
受付	公開授業・指定授業 寄宿舎公開	昼食	開会行事	記念講演	移動		授業研究会

※ 16時40分よりPCの動作チェックを行います。

※ 17時より分科会の打ち合わせ、18時30分より懇親会を行います。

【第2日目 11月11日（金）： 分科会・閉会行事】

8:30	9:00	11:30	11:40	12:00
受付	分科会	移動	閉会行事	

7 内 容

- (1) 公開授業・指定授業 幼稚部、小学部、中学部、高等部
- (2) 寄宿舍公開 40分程度を予定
- (3) 記念講演 講師 松本 末男 氏
筑波大学 附属学校教育局 教育長補佐・教授
演題 「 聴覚障害教育へのねがい 」
- (4) 授業研究会
幼稚部、小学部、中学部、高等部、寄宿舍
- (5) 分科会

第1分科会 早期教育	テーマ	「生き生きと表現し、自分からかかわり、伝え合う力を育むための授業づくりについて」
	設定理由	乳幼児期は、保有する聴覚や多様なコミュニケーション手段を効果的に活用し、自分がしたいことに集中して取り組み、いろいろな活動を楽しむことで、言葉の習得や考える力を培うことが大切である。そこで、本分科会では、いろいろな環境に自分からかかわることで、伝わることや分かることを実感し、生き生きと表現し、自分からかかわりたいという意欲をもち、伝え合う力を育てるための授業のあり方について研究する。
	助言者	高知県教育センター特別支援教育担当チーフ 山中 智子 氏
	司会担当	香川県立聾学校 福家 雅美
	記録担当	徳島県立徳島聴覚支援学校 樽 侑加 高知県立高知ろう学校 高橋 菜津子
	発表担当	岡山県立岡山聾学校 浅野 浩美 愛媛県立松山聾学校 一色 治恵 高知県立高知ろう学校 安藤 久子
	運営担当	高知県立高知ろう学校 松下 幹
第2分科会 小学部教育	テーマ	「自分の思いや考えをもち、生き生きと表現し、伝え合うための力を育てる授業づくりについて」
	設定理由	近年、少人数化と共に多様な学び方が必要な子どもたちが増加傾向にある。そのため、聴覚障害の学習上の特性を踏まえた指導と共に、児童一人一人に合わせた指導を行うことがより重要である。児童の「できる」ことに着眼した実態把握に基づき、児童の良さを引き出した指導を行うことで、児童が、自分の良さに気付き、自分の思いや考えをもてることが、学ぶ意欲につながる。そこで、本分科会では、豊かな言葉の環境のなかで、自分の思いや考えをもち、生き生きと表現し、伝え合うための力を育てる授業のあり方について研究する。
	助言者	筑波大学附属聴覚特別支援学校 非常勤講師 江口 朋子 氏
	司会担当	愛媛県立宇和特別支援学校 藤谷 朋宏

	記録担当	愛媛県立松山聾学校 汐入 郁美 高知県立高知ろう学校 坂本 綾子
	発表担当	広島県立広島南特別支援学校 井上 菜穂子 広島県立尾道特別支援学校 井桁 陽介 高知県立高知ろう学校 戎井 有里子 原 さおり
	運営担当	高知県立高知ろう学校 柏原 智子
第3分科会 中学部教育	テーマ	「自ら学び、考え、判断する力を高め、自他の良さを認識し、主体的に生きる力を育てる授業づくりについて」
	設定理由	近年、少人数化と共に多様な学び方が必要な子どもたちが増加傾向にある。そのため、聴覚障害の学習上の特性を踏まえた指導と共に、生徒一人一人に合わせた指導を行うことがより重要となる。生徒の「できる」ことに着目した実態把握に基づき、個々の生徒の良さを引き出した指導を行うことで、自分や友達の良さを認識し、自信をもって自己を表現することが、目的意識をもった行動につながると考える。そこで、本分科会では、聴覚に障害のある生徒がたくましく豊かに生きていくために自ら学び、考え、判断する力を高め、自他の良さを認識し、主体的に生きる力を育てるための授業のあり方について研究する。
	助言者	愛媛大学教育学部 准教授 加藤 哲則 氏
	司会担当	愛媛県立松山聾学校 坂根 洋一
	記録担当	徳島県立徳島聴覚支援学校 久米 千鶴 高知県立高知ろう学校 野中 理佳
	発表担当	鳥取県立鳥取聾学校 義仲 潤一 香川県立聾学校 橋塚 竜郎 高知県立高知ろう学校 山本 厚美
	運営担当	高知県立高知ろう学校 石田 翔子
第4分科会 高等部教育	テーマ	「意欲的に学び、判断する力を高め、自他を認め合い、自分らしく生きる力を育てる授業づくりについて」
	設定理由	近年、少人数化と共に多様な学び方が必要な子どもたちが増加傾向にある。そのため、聴覚障害の学習上の特性を踏まえた指導と共に、生徒一人一人に合わせた指導を行うことがより重要となる。生徒の長所に着目した実態把握に基づき、個々の生徒の可能性を引き出した指導を行うことで、他者の考えを受容し、自分の考えを表現できる力を習得することは、社会の中で自分らしく生きる力につながると考える。そこで、本分科会では周囲の情報を主体的に獲得し、活用する力を身に付け、意欲的に学び、判断する力を高め、自他を認め合い、自分らしく生きる力を育てるための授業のあり方について研究する。
	助言者	独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 インクルーシブ教育システム推進センター長 原田 公人 氏
	司会担当	高知県立高知ろう学校 沖 真希

	記録担当	高知県立高知ろう学校 濱田 洋二 高知県立高知ろう学校 三浦 怜士
	発表担当	島根県立松江ろう学校 長谷 美奈子 愛媛県立宇和特別支援学校 藤枝 順子 高知県立高知ろう学校 横山 拓 小野山 玲佳
	運営担当	高知県立高知ろう学校 小野山 玲佳
第5分科会 寄宿舎教育	テーマ	「主体的に生きぬく力を育てる寄宿舎教育について」
	設定理由	寄宿舎では、基本的な生活習慣や集団生活の中でのルールを身に付けさせることや自治会活動を通して協調性や自主性を育て、自己の役割に気付かせ、社会に適応していくための力を育てることを目的とした取組が大切である。 そこで、本分科会では、子どもたちの卒業後を見据え、主体的に社会で生き抜く力を育てるための寄宿舎教育のあり方について研究する。
	助言者	高知県立高知ろう学校 元教諭 千股 定美 氏
	司会担当	高知県立高知ろう学校 島村 裕人
	記録担当	香川県立聾学校 眞鍋 真由美 高知県立高知ろう学校 西川 瑞輝
	発表担当	山口県立山口南総合支援学校 嶋村 勉 徳島県立徳島聴覚支援学校 大柿 美和 高知県立高知ろう学校 秋元 良輔
	運営担当	高知県立高知ろう学校 細川 順子

8 参加費等

会員 2,500円 非会員 3,500円 記念講演のみ 1,000円
 研究集録代 1,200円
 学生の参加費 1,300円

9 展示

大会期間中、四国地区聾学校巡回美術展を開催しています。四国地区の聾学校の児童生徒の作品を展示しておりますのでご覧ください。

10 大会事務局及び連絡先

第39回中国・四国地区聾教育研究大会（高知大会）事務局
 〒780-0972 高知市中万々78（高知県立高知ろう学校内）
 TEL 088-823-1640 FAX 088-823-1752
 E-mail ayumi_horino@kt3.kochinet.ed.jp
 大会ホームページ <http://www.kochinet.ed.jp/ro-s/tyuusiroh/top.html>
 大会実行委員長 校長 浅野 弘巳
 大会事務局長 教諭 堀野 あゆみ